

第三者意見



東京工業大学 大学院 教授
中崎 清彦 先生

カワイグループは、来年創業90周年を迎えるが、本環境社会報告書は100年ブランドとして、さらに企業価値向上を推進し、長期的な安定成長の実現を目指すための取り組みが伝わるものとなっている。なお、100年ブランドのための新中期経営計画「Resonate 2018」が策定されているが、その詳細はWEBにも公開されている。

品質に関しては、昨年の第9回浜松国際ピアノコンクールにおいて、第1位を獲得したアレクサンデル・ガジェヴ氏をはじめとして24名もの多くのピアニストがカワイフルコンサートピアノSK-EXを演奏したこと、また、デジタルピアノのCA97、CA67が米国の楽器販売店の投票により選ばれる賞である、Music Inc 2015 “Product Excellence Award”を受賞したことなどからも、その品質が高く評価されていることがわかる。

CSR活動においては、音楽を通じた社会貢献として東日本大震災被災地の復興支援のためにチャリティーコンサートを継続的に開催している。また、2007年の創業80周年の記念事業の一つとしてインドネシアにおいてスタートした「カワイの森」の植林活動を継続し、2015年までに400ha、40万本余の植林を達成している。この植林によって年間6,200トンのCO₂吸収効果が見込め、竜洋工場における生産活動にともなって発生するCO₂の約1.6倍の量にあたるCO₂を吸収できるとしている。よいことはそれを継続するだけでも大きな価値があるが、報告書には、それをさらに進化させた取り組みが紹介されている。林野庁の『みどりのきずな』再生プロジェクトに参画し、ピアノメーカー、カワイ音楽教室と体育教室、カワイの森育成会が一体となって被災地の支援活動に取り組むユニークな社会貢献活動を展開したこと、また、浜松市沿岸の防潮堤整備への協力もおこなっている。現状にとどまることなく常に前進のための方策が工夫されている。

この他に社会性報告としては2015年6月に制定された「コーポレートガバナンス・コード」に基づいた、健全で効率的な会社経営を遂行するための仕組みである「企業統治」の取り組み方針が説明されている。さらに、環境活動については、原単位基準のCO₂排出量、エネルギー使用量、産廃排出量の目標が適正に達成されたことが示されている。加えて、これまで進めてきたカワイの教育事業についても学研との業務提携を機にさらに大きな展開が期待されること、女性活躍推進法の施行に対しても適正に対応していることが見て取れる。

本報告書は、100年ブランドに向けての真摯な取り組みがまとめられている。カワイグループが100年ブランドとしてさらなる成長を遂げることを期待している。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生より専門家としてのお立場から広い視野に立った第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、第9回浜松国際ピアノコンクールで第1位入賞者をはじめ多くの方々にカワイフルコンサートピアノ SK-EX を演奏して頂いたことやカワイデジタルピアノが米国の Music Inc 2015 で賞を獲得したことをカワイの品質としてご評価頂いたことは大いに励みになるお言葉として受け止めております。

また、チャリティーコンサートやカワイの森育成会の活動による被災地の支援活動やインドネシアの植林などの楽器メーカーならではのCSR活動をご高評いただけたことは大変喜ばしく、これからも取り組みを継続してまいりたいと考えます。さらに、事業を通じたCO₂などの環境負荷の低減につきましても、目標を掲げて努力を続けてまいります。

今後も事業活動における地球環境の保全活動、文化貢献活動を通じて「カワイブランド」の価値の向上と持続可能な社会の実現に寄与できるよう継続的にPDCAサイクル(Plan・Do・Check・Action)を廻してCSR活動の推進を図るとともに、カワイグループの取組みについて皆様へ分かりやすい情報の開示に務めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)